

令和5年度の予算編成に対し、
「8分野・98項目」の要望、
政策提案・提言を致しました。

- 都市経営・行財政改革

● 都市基盤整備

● 経済活性化・スポーツ・産業振興

● 教育・子育て・生涯学習

● 健康・福祉

● 市民生活・環境

● まちづくり・市民協働

● 防災(災害に強いまちづくり)
- 

※詳しい内容はホームページからご確認いただけます。



さいたま市長宛に要望書を提出

駒場スタジアムの改修工事計画について

浦和区 青羽 健仁 議員

令和4年9月定例会代表質問より

- Q：

浦和駒場スタジアムの改修は、計画的且つ中長期的にスピード感を持って財源確保を進めるべき。今後のイベント情報などを把握している他部局との連携も必要と考えるが、市の見解を伺う。
- A：

浦和駒場スタジアムの全体改修に向けては、今年度に施設の健全度調査を実施し、来年度に長寿命化に関する方針やスケジュールを検討していきたい。本スタジアムは(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンにも位置付ける予定であり、浦和レッズなど関係団体と調整しスピード感を持って検討を進めたい。また、施設の全体改修には多額の費用を伴うため、引き続き庁内関係課で役割分担し、財源を確保するため国費の充当なども視野に入れ、魅力ある施設となるよう維持管理に努めていく。



市内経済対策について

北区 伊藤 仕 議員

令和4年9月定例会一般質問より

- Q：

物価高騰の長期化が予想されるが、学校給食の現状と来年度の学校給食費への影響について伺う。
- A：

1学期には、各校の栄養教諭、学校栄養職員が食材の変更や調理方法を工夫するなど、厳しい中、児童生徒に安全でおいしい給食を提供してきた。6月定例会にて議決した学校給食用食材の物価高騰対応分の補正予算により、2学期からは各校において物価高騰分を反映させ、必要な食材を使用しながら、栄養バランスや量を保った学校給食の提供をしている。来年度の学校給食費については、物価高騰が今後も継続することが予想される。栄養バランスや量を保った学校給食を提供するため、関係部局と協議し、予算措置も含め検討したい。



セントラルパーク計画について

浦和区 玉井 哲夫 議員

令和4年9月定例会まちづくり委員会議案外質問より

- Q：

第二期整備地区の進捗状況について、セントラルパーク計画はさいたま市が誕生した当初からの構想であり、合併記念見沼公園から浦和西高校周辺まで広がる壮大な構想となっている。「さいたまセントラルパーク」という名称になり拡大整備が始まるが、第二期整備地区基地区の進捗状況を伺う。
- A：

令和3年11月に都市計画事業認可を取得した。防災性の観点や本庁舎移転の時期も念頭に、令和12年度の供用開始を目指し、用地取得や公園整備を進める。
- Q：

第三期整備地区の展望について伺う。
- A：

第三期にあたる展開候補地区は、次期整備地区のさらに南側に位置しており、面積は約49ヘクタールである。見沼田園の基本方針というものに沿って、スポーツ施設、公園、あるいは農地といった施設を適正に配置できるよう、今後検討する。



総合政策委員会

緑区

都築 龍太 議員

さいたま市議会では6つの常任委員会が常設されており、きめ細かに審査が行われます。総合政策委員会では主に市長公室、都市戦略本部、総務局、財政局、経済局、出納室、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会に関する事項（予算委員会の所管に属するものを除く）並びに他の常任委員会の所管に属さない事項について審査が行われます。令和4年9月定例会では委員長の進行を中心に議案1件、請願2件の審査が行われました。委員会の審査結果は委員長により本会議にて報告されました。



委員会進行を行う
都築総合政策委員長

いじめ防止シンポジウムについて

南区

萩原 章弘 議員

令和4年9月定例会文教委員会議案外質問より

Q：いじめ防止シンポジウム開催の狙いと成果について伺う。

A：学校、家庭、地域、行政が一堂に会し、市を挙げていじめを起こさない、見逃さない環境づくりについて考えることを趣旨とし、いじめ撲滅に向けた市全体の機運を高めることを第一目標にして開催を続けている。

Q：いじめ撲滅に向け、具体的な目標設定が必要だと考えるが見解を伺う。

A：具体的な数値目標等も掲げて取り組むことは大変必要なことだと思っている。辛抱強く取り組んでやっていくことによって、重大ないじめの案件というものは確実に減少していると考えている。いじめ防止シンポジウムの参加がいじめの問題について考えるよい機会になったかという質問に対しては、99.4%の方が肯定的な意見をくださった。肯定的な意見が多いからといっていじめが減っているわけではないが、機運を高めることも大事であると肝に銘じシンポジウムを継続していきたい。



消防署の適正配置について

南区

桶本 大輔 議員

令和4年9月定例会市民生活委員会議案外質問より

Q：将来的な消防体制を考えると消防署の適正配置が重要だと考えるが、市の見解は。

A：延焼を阻止するため出場してから到着する6分30秒以内に放水が開始できるように整備を進めることとしている。人口や災害発生リスクが多く存在する消防需要の高い地域には、これまで以上に素早く対応できるよう効果的な配置を目指している。

Q：老朽化が進む南消防署における今後の整備について見解を伺う。

A：一般財団法人消防防災科学センターに委託した消防力適正配置調査の結果より、現在置はバランスが取れた適地であることが分かっている。建て替えは、消防力整備計画において令和12年度までに現在地建て替えを基本とし、さいたま市消防庁舎等の基準で定める3,000㎡を満たすような適地が近隣にあれば移転も考慮することとしている。



コミュニティバス運行について

岩槻区

新井 森夫 議員

令和4年9月定例会まちづくり委員会議案外質問より

Q：岩槻区のコミュニティバスの過去の土日の試験運行の内容について伺う。

A：平成31年2月16日、17日及び、まちかど雛めぐりのイベントが開催中の平成31年3月2日、3日の計4日間、運行時刻やルートは平日と同様の内容で実施をした。平日に対して約7割から8割の利用であった。

Q：市民会館いわつきへの公共交通機関としてコミュニティバスは重要であると考え、利用者が多い土日運行の可能性について見解を伺う。

A：乗車人員の増加が見込めず収支比率が下がることが想定されるため、土日運行の実施の可能性は難しい状況である。イベント開催時のアクセスについては、イベント開始、終了時間に合わせ岩槻駅と施設間でのピストン輸送が現実的と考えている。市民会館所管部局へ土日利用に関する情報提供を行うとともに、利用者の声に対する活用の可能性について、部局横断した検討会の中で課題として取り上げてまいりたい。



自由民主党さいたま市議会議員団

※ご意見等はお近くの議員又は関連する委員会
若しくは会派役職の議員にお聞かせください。



浦和区選出

青羽 健仁

会派役職：顧問

常任委員会

総合政策

特別委員会

市庁舎等整備検討
決算



岩槻区選出

新井 森夫

会派役職：政調会長

常任委員会

まちづくり

特別委員会

地下鉄7号線延伸事業
（副委員長）
議会運営



北区選出

伊藤 仕

会派役職：団長代行

常任委員会

保健福祉・予算

特別委員会

大宮駅 GCS 化構想
大都市行財政（委員長）
議会運営



南区選出

桶本 大輔

会派役職：相談役

常任委員会

市民生活

特別委員会

政治倫理



浦和区選出

玉井 哲夫

会派役職：幹事長

常任委員会

まちづくり

特別委員会

市庁舎等整備検討



緑区選出

都築 龍太

会派役職：団長

常任委員会

総合政策（委員長）
予算

特別委員会

議会改革推進（副委員長）
議会広報編集



南区選出

萩原 章弘

会派役職：顧問

常任委員会

文教

特別委員会

地下鉄7号線延伸事業
決算